

街の安全と安心を万全の体制で見守ります。

岡山市消防局の管轄する岡山市・吉備中央町は、緑豊かな中国山地と美しい瀬戸内海に囲まれ、京阪神、九州、四国を結ぶ交通の要所として発展を続けています。

近年の都市構造、社会環境の変化により、救急需要の増大、災害の複雑多様化が進むとともに、地震・台風など大規模な自然災害も多発しています。

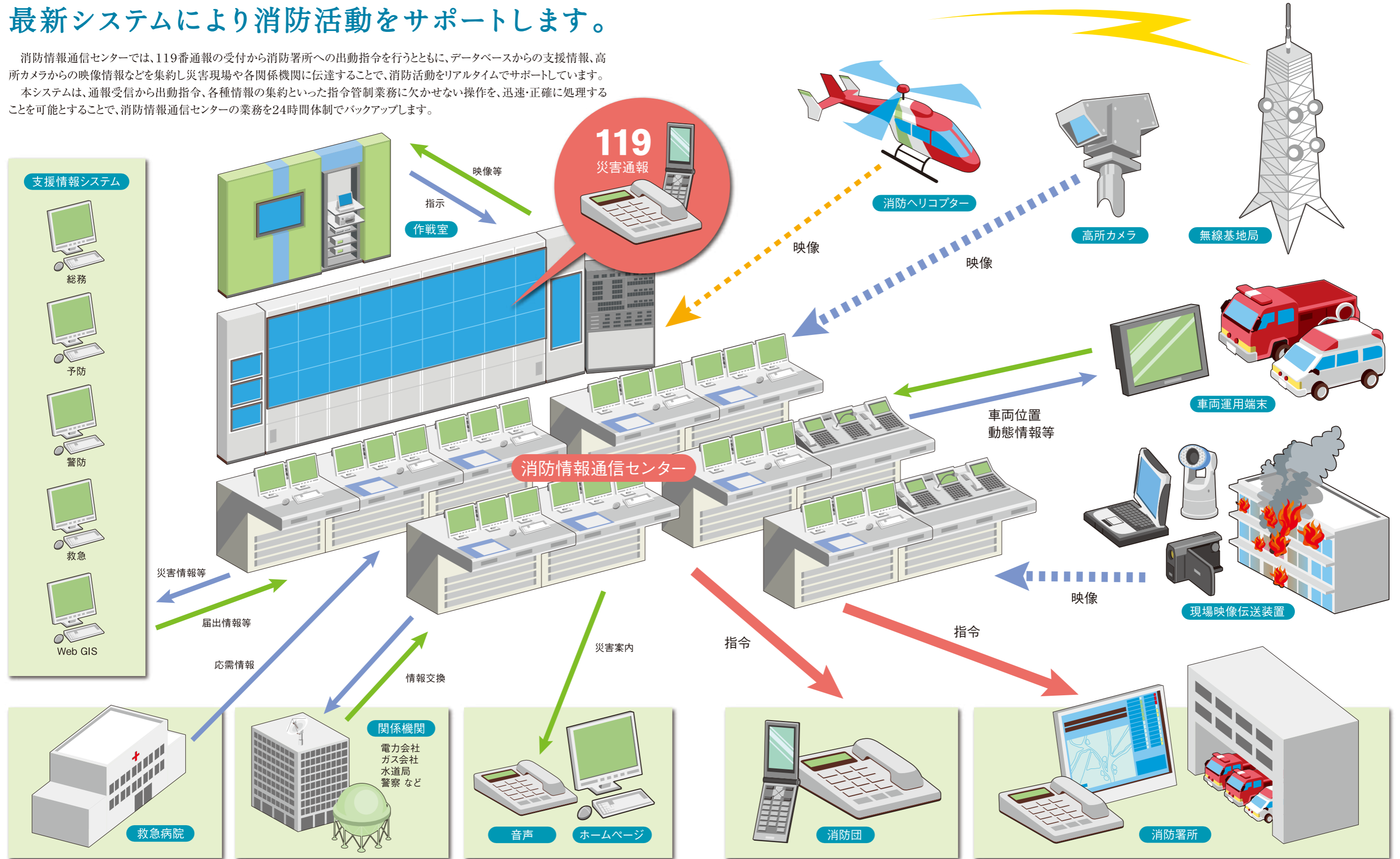
これらの災害に対応するため、岡山市消防局では最新の高機能消防指令センターを導入し、消防体制の充実強化を図りました。

地域住民一人ひとりの安全と安心を確保するため、最先端技術を駆使し、万全の体制で業務に取り組んでいます。



最新システムにより消防活動をサポートします。

消防情報通信センターでは、119番通報の受付から消防署所への出動指令を行うとともに、データベースからの支援情報、高所カメラからの映像情報などを集約し災害現場や各関係機関に伝達することで、消防活動をリアルタイムでサポートしています。
 本システムは、通報受信から出動指令、各種情報の集約といった指令管制業務に欠かせない操作を、迅速・正確に処理することを可能とすることで、消防情報通信センターの業務を24時間体制でバックアップします。

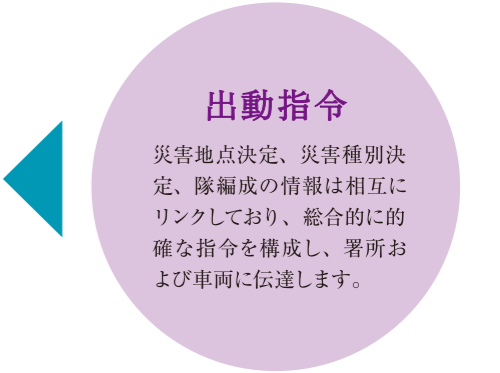
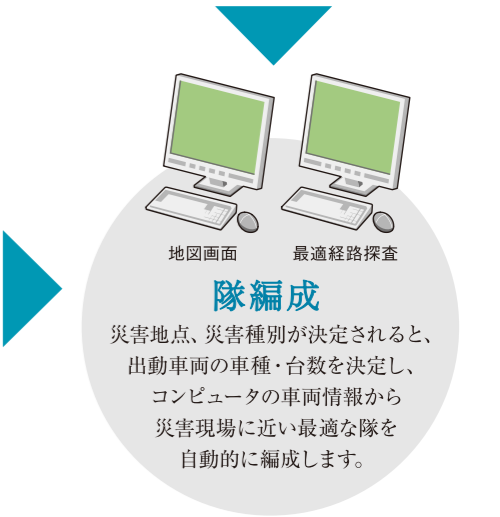
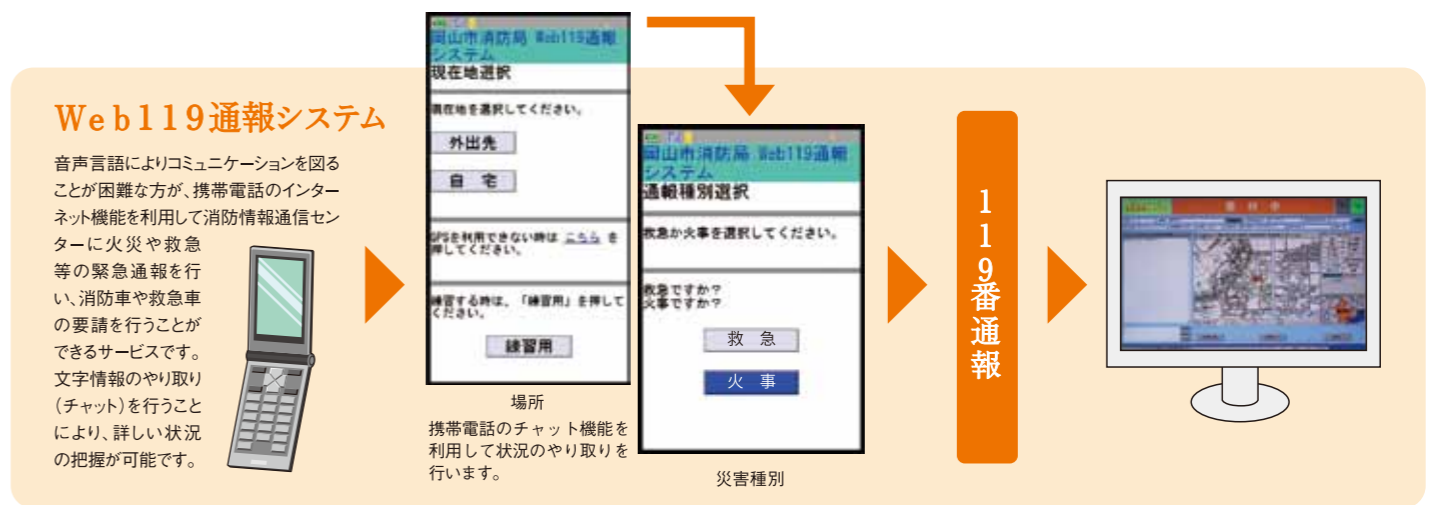


通報受付から現場到着まで、 迅速・的確・安心を確保するための機能充実。

本システムは、多様化する通信媒体や通信手段に対応するため、位置情報通知システム（統合型）や、これまでのFax 119に加えWeb 119通報システムを導入しており、通報形態にとらわれない緊急通報の受付体制を確立しています。

位置情報通知システム（統合型）は、NTT加入電話・携帯電話・IP電話からの119番通報に対して、発信位置情報などを表示し、災害地点を素早く特定するためのシステムです。

指令管制業務について、119番通報受付～災害地点の決定～自動隊編成～出動指令までの一連操作を、より効率よくスムーズに行うことができます。出動車両の編成についても車両の位置、動態情報から災害現場に近い車両を編成できるとともに、特殊な災害に対しても最適な編成を行うことができ、通報受付から現場到着時間の短縮を図ることができます。



高機能消防指令センターの中核を担う主要装置。

火災や救急などの通報がすべて集まる消防情報通信センター。ここでは、一人ひとりの生命や財産を守るため、最新鋭の装置がフルに活用され、刻一刻と移り変わる災害現場の活動を支援します。

これら主要装置には、大規模災害への対応、災害通報多様化への対応ができるように様々な技術が活用されています。

表示盤

46型液晶ディスプレイを27面配置し、車両運用状況、管轄地図、高所カメラの映像など指令管制業務を支援する情報と映像を表示します。27面表示盤は、様々な映像ソースを自由に拡大や配置ができ、指令室の全員が現状を把握することができます。

また、119番通報の着信状況や気象情報、各種警報注意などの情報を表示する表示盤も設置しています。



Web119通報装置

音声言語によりコミュニケーションを図ることが困難な方が、携帯電話から行うWeb119の緊急通報を受信し、災害地点・災害種別の特定を行います。



音声合成装置

119番通報を聴取しながらでも、音声合成による出動指令や災害情報の案内を行うことができます。

瞬時警報システム接続装置

全国瞬時警報システム (J-ALERT) と接続することにより、通信衛星を利用した国からの緊急情報を各消防署所や災害現場の消防隊に迅速に伝達します。



指令台

119番通報の受付から出動指令、消防隊との無線交信といった有無線を扱うとともに、現場活動に必要な支援情報や地図情報のディスプレイを収容し、指令管制業務の一連の操作を行います。

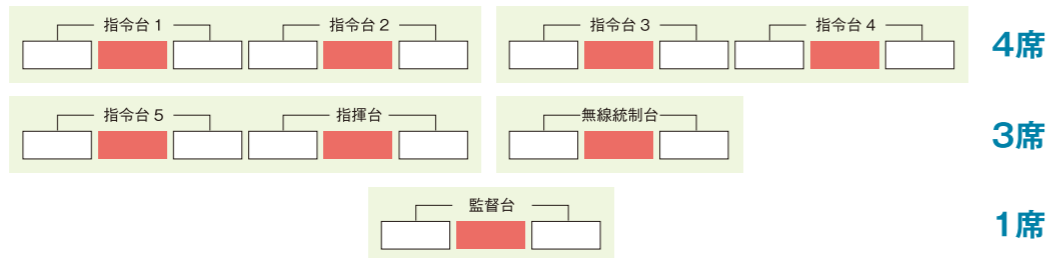
無線統制台

複数の無線周波数を収容し、消防車、救急車との無線交信や無線の統制を行います。

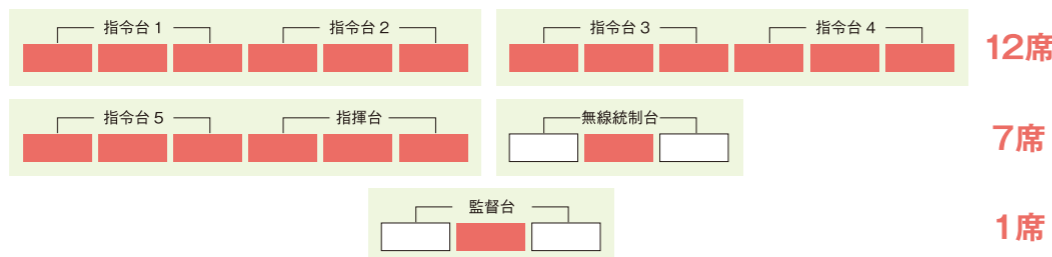
大規模災害への対応強化

消防情報通信センターでは、指令台・指揮台・監督台・無線統制台により通常8席（1席3画面のディスプレイ）で119番通報の受付を行うことができますが、地震や台風といった大規模災害時には最大20席（1席1画面のディスプレイ/監督台・無線統制台は除く。）で運用することで、通報が輻輳する状況においても迅速かつ的確に業務を行うことができます。

通常モード



大規模災害モード



最大20席まで対応可能

消防署所装置

署所端末では、消防情報通信センターからの音声指令を受信し、指令放送を行うとともに、災害地点などの指令情報も出力します。支援情報端末により、警防業務の報告書作成や予防業務の台帳管理といった消防事務の効率化を図ります。また、消防出張所については職員が出動中で不在の場合でも、駆け付け通報装置により直接消防情報通信センターに通報することができます。



液晶ディスプレイ



指令端末装置



ナビゲーションシステム



支援端末装置



車両装置

車両運用端末は、指令情報や災害地点付近の地図情報を表示し、現場活動に必要な支援情報の検索・閲覧を行うことができます。さらに、車両の動態情報を消防情報通信センターに送信できるほか、GPSを利用したナビゲーション装置が搭載されています。現場映像伝送装置では、火災現場などの状況をリアルタイムで消防情報通信センターに伝送することができます。

最新のネットワークシステムにより、現場活動に必要な様々な情報を収集し管理する。

